

2013(平成 25)年度

事業報告書

2014(平成 26)年 10 月

社会福祉法人 十愛療育会

たちほどがや

## もくじ

I	事業所(建物)の概要	2
II	事業の概要	2
	1 事業種目 2 組織図 3 職員配置 4 会議・委員会活動	
III	施設入所支援事業	3
	1 月別利用状況	
	2 利用者の状況	
	3 日中活動	
	4 行事	
	5 健康と安全の支援	
	6 家族との連携	
	7 家族会との連携	
	8 職員の資質向上	
	9 職員の業務やユニット体制の見直し	
IV	短期入所事業	8
	1 利用状況	
	2 短期担当2名の設置	
	3 短期入所担当会議の開催	
V	生活介護事業・通所部門	9
	1 契約状況	
	2 利用状況	
	3 利用者の状況	
	4 利用者の居住区分布	
	5 送迎支援	
	6 活動の概要	
	7 日中一時支援	
	8 特別支援学校実習生の受け入れ	
VI	管理課業務	12
	1 管理職会議の運営	
	2 職員集会の開催	
	3 利用者のアメニティ向上、職員の腰痛予防の取り組み	
	4 入所利用者の買物代行	
	5 業務環境の整備	
	6 経費節減の取り組み	
	7 経理業務	
	8 防災訓練	
	9 その他	
VII	職員受講研修一覧	16
VIII	アクシデント・インシデント	17
IX	要望・意見・苦情	18
X	平成25年度決算の概要	19

## I 事業所(建物)の概要

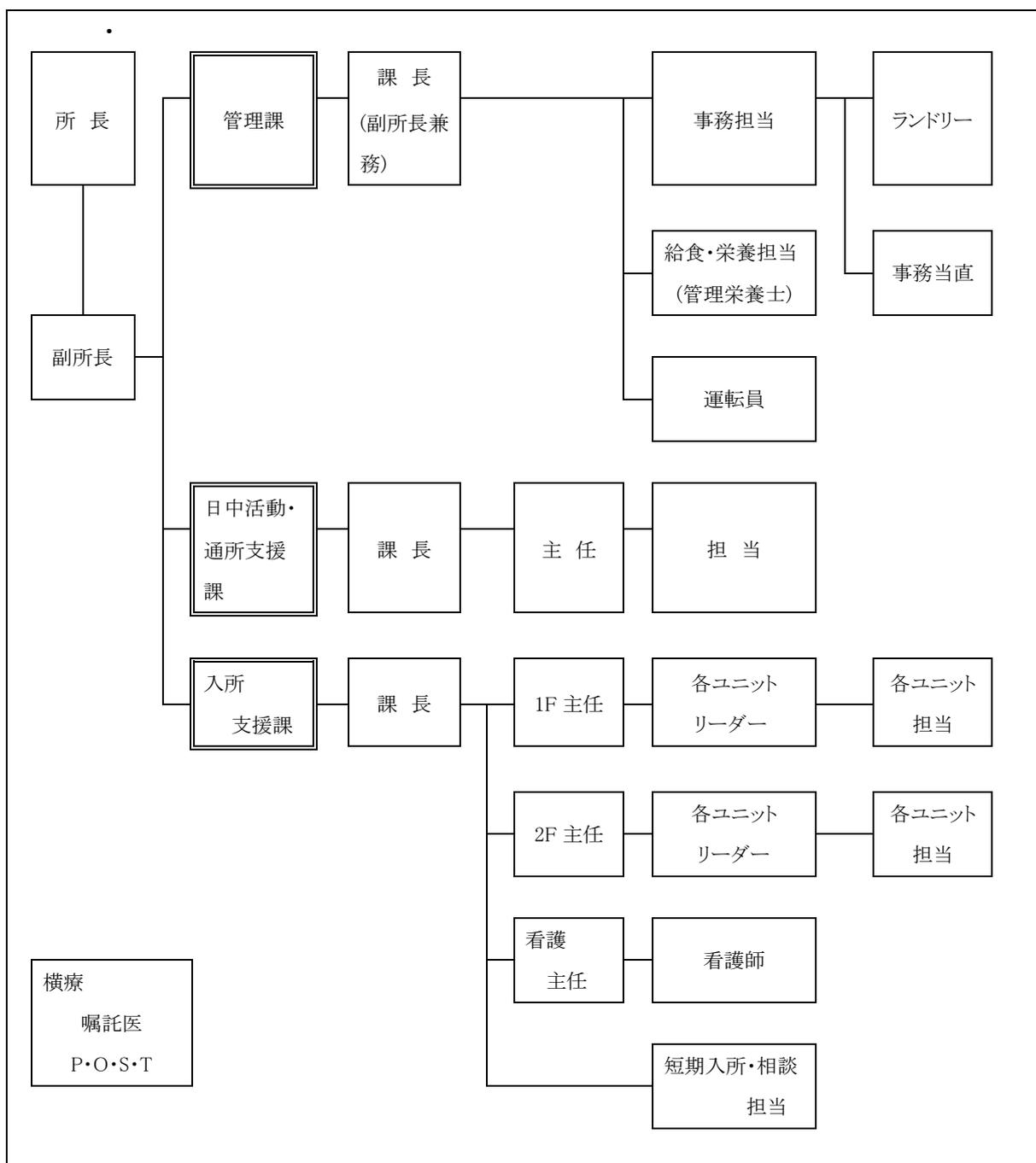
- 1 所在地:保土ヶ谷区仏向町 1600-2 (敷地面積/12, 983.31 m<sup>2</sup>)
- 2 建物概要:①構造/鉄筋コンクリート造 2階建 ②建物面積/3, 212.53 m<sup>2</sup>(1階 2,104.56 m<sup>2</sup>、2階 1,107.97 m<sup>2</sup>)
- 3 開設年月日:平成22年4月1日

## II 事業の概要

### 1 事業種目 (障害者自立支援法に基づく事業)

事業名	事業開始年月日	定員・利用対象	事業所番号
施設入所支援事業	平成 22 年 4 月 1 日	40名 日中活動:生活介護 区分 4~6(50 歳以上区分 3~)	1410600751
生活介護事業・通所	平成 22 年 5 月 1 日	20名 区分 3~6(50 歳以上区分 2~)	
短期入所事業	平成 22 年 10 月 1 日	10名 区分1~6	
日中一時支援事業	平成 23 年 6 月 1 日	3名/日 18 歳以上	1460600453

### 2 組織図



3 職員配置(平成26年3月31日現在)\*常勤数は常勤嘱託を含む

	入所支援課			通所支援課			管理課			合 計		
	常勤	非常勤	合計	常勤	非常勤	合計	常勤	非常勤	合計	常勤	非常勤	合計
所長										1		1
課長	1		1	1		1	1		1	3		3
生活支援員	39	3	42	8	6	14				47	9	56
看護師	3		3		1	1				3	1	4
栄養士							1		1	1		1
運転員							1	3	4	1	3	4
ランドリー								2	2		2	2
事務							2		2	2		2
当直							1	1	2	1	1	2
合計	43	3	46	9	7	16	6	6	12	58	16	74

4 会議・委員会活動

	名 称	構成メンバー	開催日時	内 容
各種会議	経営会議	理事長、事務局長 所長、副所長、各課長	毎月	運営方針の策定 運営状況の確認
	管理職会議	所長、副所長、課長	週1回(水)	事業調整、懸案検討
	運営会議	所長、副所長 各課長、各主任、	毎月	経営会議報告、運営課題の解決 予定管理
	全体会議	職員全員	年1回	年間計画、その他必要時
	フロア会議	各フロア職員	年2回 (9・2月)	年間計画の確認 中間評価・年度末評価
	通所会議	日中課長 通所職員全員 通所担当看護師	毎月	利用者の情報交換 業務に関わる検討事項等
	看護師会議	看護師全員	毎	業務に関わる検討等
	リーダー会	入所課長、入所主任 リーダー、看護師	毎月	ユニット間の情報交換 業務に関わる検討等
	ユニット会議 (利用者カンファレンスを 含む)	ユニットメンバー全員 ※カンファレンスのみ 課長・フロア主任 担当看護師(必要時)	毎月	利用者の情報交換 リーダー会からの報告・検討 他業務に関わる検討事項等
	入所活動担当会議	各課長、援助員各主任 各フロア担当	毎月	活動の企画・家族会との調整
	短期入所会議	入所課長、入所主任 看護師、各フロア担当	毎月	短期入所の業務に関する調整 短期利用者の情報共有
委員会	リスクマネジメント(感染)	各課長、1フロア2、2フロア1、通所1、看護師1	毎月	事故防止・感染予防対策
	サービス向上 (虐待防止)	各課長 1フロア2、2フロア1 通所1、看護師1	毎月	利用者・家族・職員からの意見吸い上げ・対策・ 虐待防止マニュアル整備
	給食	所長、副所長 各課長、栄養士1・看護師1、フロア1・通所1 委託担当1・栄養士1	毎月	栄養管理、給食についての検討
	にこにこ祭実行委員	1フロア2、2フロア2、通所1、管理課1	4・7・9・10月	にこにこ祭企画運営
	衛生委員会	運営会議メンバー 産業医	毎月	職員の安全と健康に対する検討、対策

### Ⅲ 施設入所支援事業



にこにこ祭で太鼓体験

#### 1 月別利用状況（カッコ内は前年度）

区分	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (前年)
入所 支援	在籍数	42	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	515 (504)
	日平均 在籍数	42.0	42.7	42.6	42.7	42.9	42.9	42.9	42.9	42.7	41.3	41.0	42.8	42.5 (41.6)
生活 介護	日平均 在籍数	39.7	40.2	40.2	40.0	40.4	40.2	40.6	40.4	38.3	39.3	39.3	40.7	39.1 (39.4)

平成 25 年 5 月から措置入所者 1 名を受け入れ利用者数は 43 名となった。

一日の平均利用者数は入所支援では 42.5 名、生活介護では 39.1 名であった。

## 2 利用者の状況

男女数	男性 22名	女性 21名	合計 43名	
平均年齢	48.3歳（最年少23歳、最高齢65歳）			
平均利用年数	3.8年			
入所前の状況	在宅18(42%)、短期9(21%)、入所10(23%)、病院6(14%)			
障害程度区分	区分4（1名）	区分5（8名）	区分6（34名）	
知的+身体障害	合計19名	A1+身障1（10名）	A2+身障1級（3名）	
		A1+身障2級（4名）	A2+身障2級（2名）	
精神+身体障害	合計7名			
食事	自立17名	半介助9名	全介助17名	経管栄養1名
トイレ	トイレ自立6名	トイレ介助13名	オムツ19名	バルン等5名
移動	歩行1名	車いす自立2名	車いす介助40名	

## 3 日中活動

### (1) 日中活動実績

新たに活動担当(2名、生活支援員と兼務)を設け活動を計画・実施した。

実施内容

- ① 個別プログラム(散歩、マッサージ)
- ② リズム運動(毎月1回)
- ③ 外出支援(不定期、運転担当と共同し、実施)

月	回数	人数	行き先	外食	買物	その他
4	4	7	東戸塚ダイエー、赤レンガ倉庫、保土ヶ谷公園	4	3	1
5	7	12	東戸塚西武、東戸塚オリンピック、天王町イオン、ららぽーと他	9	6	1
6	11	20	オランダ坂、ダイエー、コーナン、保土ヶ谷公園、ハングリー、イオン	7	3	3
7	10	19	大池緑地公園、ブックオフ、下川井マック、スシロー、蕎麦名古屋	5	7	2
8	11	20	ららぽーと、ジョナサン、サミット、こども自然園、肥田牧場、コジマ	7	8	3
9	8	13	らーめん伝丸、ららぽーと、ヴィクトリア、オーロラ、ジョナサン他	8	8	2
10	12	18	オーロラ、大黒埠頭、イオン、いなげや、オリンピック、ららぽーと他	9	9	3
11	6	9	しまむら、オリンピック、浜寿司、ダイエー、イオン、トイザラス、マック	6	4	1
12	7	11	ららぽーと、オーロラ、オリンピック、トイザラス、ケース	4	8	0
1	4	5	下川井マック、ららぽーと、ダイエー、ベイサイドマリーナ	3	1	1
2	5	6	イオン、マック、保土ヶ谷公園、オーロラ	5	2	1
合計	85	140		67	59	18

- ④ リトミック(毎月1回 5月より開始)
- ⑤ グループ活動(6月より開始 エアトランポリン、陶芸、調理、創作、映画鑑賞)
- ⑥ 読み聞かせ(毎月1回 6月より開始)
- ⑦ パン販売(毎月1回 7月より開始)

### (2) ユニット・フロア活動実績

日曜の活動を中心にユニット・フロアごとに計画・実施した（ドライブ・カラオケ・映画鑑賞・調理等）

- ①フロア外出状況

4月	21日 横浜ドライブ 24日 横浜ドライブ 28日 アイス工房	10月	6日 YRほのぼの祭 13日 綱島ざうお 24日 羽田空港
5月	12日 湘南台文化センター 21日 雪印こどもの国 24日 東戸塚ショッピング	11月	6日 ヨコスカ散策 19日 オーロラモール 28日 トイザラス
6月	21日 ハングリータイガー 21日 あゆみ荘 26日 お台場 30日 横浜ドライブ	12月	8日 マクドナルド 11日 トレッサヨコハマ 12日 トレッサヨコハマ 15日 みなとみらい
7月	7日 カラオケ 11日 マック・サティ 17日 保土ヶ谷公園 25日 そばや	1月	12日 シダックス 17日 品川水族館
8月	8日 こども自然公園 13日 アンパンマンミュージアム 25日 日産ギャラリー 29日 箱根湯元(一泊二日)	2月	23日 サティ
9月	1日 保土ヶ谷公園8日 あさひぺったんまつり	3月	9日 カラオケ

②季節行事、誕生会、出前パーティー、調理など

	1ユニット	2ユニット	3ユニット	4ユニット	5ユニット
4月	なし	なし	なし	なし	なし
5月	19日 ピクニック	なし	12日 ドライブ	19日 誕生会	19日 誕生会
6月	23日 ホットケーキ作り	なし	9日 誕生会	なし	30日 ラーメン
7月	8日 誕生会	14日 カラオケ	7日 カラオケ外出	なし	10日 出前
8月	13日 誕生会	5日 水遊び	18日 お楽しみ会	4日 誕生会	11日 誕生会
9月	21日 誕生会	29日 餃子作り	15日 カラオケ外出	22日 合同BBQ	
				29日 誕生会	
10月	27日ハロウィンパーティ	なし	なし	なし	なし
11月	なし	3日 スイートポテト作り	10日 お楽しみ会	17日 誕生会	24日 たこ焼き
12月	15日 合同誕生会			なし	なし
1月	13日 誕生会	5日 お餅つき	12日 カラオケ外出	19日 出前	26日 出前
2月	9日 バレンタインデー	2日 節分	なし	2日 誕生会 15日 バレンタイン	なし
3月	16日 ホワイトデー	2日 ひな祭り	23日 カラオケ外出	2日 誕生会 15日 ホワイトデー	なし

4 行事

(1) にこにこ祭(10月20日)

内容	イベント(ダンス、太鼓)、ネイル、模擬店(射的、輪投げ、フランクフルト、うどん、ジュース)、安田物産(カレー)、連(パン) スポーツ&カフェ ゴリアテ(クレープ)
参加者数	約200人
模擬店売上	収入¥60,000 寄付¥46,500 支出¥76,442

(2) 季節イベント

6月	音楽祭	1月	もちつき
8月	花火	2月	還暦祝い
12月	クリスマスライブ	3月	還暦祝い

5 健康と安全の支援

(1) 医療受診支援

担当援助員は利用者の日々の状況を把握し、異常があった場合は早期に看護師、栄養士等と相談し、必要があれば主治医の受診に繋げた。通院回数と付添状況は年間 583 回(健康診断付き添いは除く)で利用者一人当たりの通院回数は年間 13.6 回であった。感染症の流行は少なかったが、肺炎や褥創により 1 週間から 3 ヶ月程度入院された方が 3 名。平均年齢が高くなるにつれて今後も健康管理が課題となった。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
職員	42	37	40	37	47	35	34	33	24	33	37	36	415人
家族	13	16	12	16	18	13	19	13	13	16	10	9	168人
合計	55	53	52	52	65	48	53	46	37	49	47	45	583人

(2) リスクマネジメント委員会

開催回数	4月、5月、6月、8月、9月、10月、11月、1月
主な内容	リスク検討、研修会企画、委員会の役割の整理等

(3) 看護師会議

開催月	4月、6月、7月、9月、10月、11月、12月、1月、3月
主な内容	利用者の情報共有、業務調整等

(4) 横浜療育医療センター歯科による定期検診を実施した(半年に1回)。

定期健診月	5月～8月、11月～2月 (各利用者2回)
ブラッシング指導	6月～9月、12月～3月(各利用者2回)

(5) 横浜療育医療センターの訓練課と連携し、支援の検討、介護法の確認、機能維持等に努めた。

評価対象者数	40人
評価希望内訳	介助 6、身辺自立 3、食形態・摂食 10、その他 20 ① 現状の介護が間違っていないことの確認 (2) ② 支援のチーム共有化 (2) ③ 意欲ある課題訓練の日常化 (2) ④ 食事環境設定による自立化 (1) ⑤ 道具変更による生活改善 (2) ⑥ 介護の工夫による痛みの訴えの減少、笑顔の増加 (2) ⑦ 食形態、食事介助の工夫による改善 (2) ⑧ リハスタッフの課題検討参加 (3)
評価担当者	P T 29、S T 8、O T 5 (重複あり)
評価実施済数	25人
リハ計画作成数	25人
リハ実施報告数	17人

(6) 生活援助員が医療ケアを実施出来る体制の推進

誤嚥による肺炎のため食事が取れず胃ろうに切り替えた方が1名。そのため、特定の医療ケア研修に参加し、資格を持つ職員を増やした。

喀痰吸引等研修受講状況（敬称略）

1.2号研修（不特定）	3名	永藤、清水、米山
3号研修（特定）	13名	夏莉、間山、丸山、千原、河内、貝森、荒井 横関、赤羽、伊藤、中村、坂上、川田

6 家族との連携

- (1) ご家族の希望を汲み取りながら、支援計画を作成、実施した。
- (2) ユニットの行事や活動に参加して頂く機会を設け、利用者、職員とのコミュニケーションを図った。

7 家族会との連携

- (1) 毎月1回、家族会役員会に所長が参加した。
- (2) 1年間を通じて家族会会員により喫茶店の運営(火、木、土)、草刈、花壇作り、清掃等を提供頂いた。
- (3) 音楽祭、にこにこ祭、花火大会等に合計195000円の寄付金およびエアトランポリン(約50万円相当)の寄付を頂いた。
- (4) 家族会と連携して行事を開催した。

5月5日(日)	風船バレー大会
1月1日(水)	餅つき大会



寄付頂いたエアトランポリンで思い切った全身運動が楽しくできるようになりました

## 8 職員の資質の向上

### (1) サービス向上委員会

委員会開催月	4月、5月、7月、8月、9月、10月、11月、12月、1月
主な内容	接遇マニュアルの見直し、虐待アンケート、ご家族、ご利用者からの意見収集と対策

介護の基本を見直す機会を設けた。ケアの統一を目指す取り組みを行った。

### (2) チューター制度

対象新人職員数	8名
チューター数	8名
チューター会議開催月	4月、6月、9月

### (3) 職員一人ひとりが目標を持つ

目標シートを配布。年2回主任との面談を実施した。

## 9 職員の業務やユニットの体制の見直し

(1) 主任が一般業務から抜けられる時間を定期的に設けた。年度の後半は職員の欠員により抜けることはできなかった。

(2) 勤務時間の検討・見直し、ユニットの利用者配置の見直しについては、継続検討となった。

(3) 管理課職員と物品管理方法の効率化を図った。

## IV 短期入所事業

### 1 利用状況

#### ①登録者数

	平成 25 年度	平成 24 年度
登録者数	219 人	197 人

#### ②月別実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用実数	32	37	30	39	33	32	39	39	34	31	26	29	401 (379)
延利用 日 数	186	170	163	188	184	178	185	173	176	155	139	167	2064 (1843)
日平均 在籍数	6.2	5.5	5.4	6.1	5.8	5.9	6.0	5.8	5.7	5.0	5.0	5.4	5.7 (5.1)
稼働率	77.5	75.5	77.6	86.6	84.5	84.5	85.3	82.4	81.1	71.4	70.1	76.9	80.6% (62.9%)

短期事業開始3年半が経過し、新規の問合せ数は落ち着いて来た。(H24年度68件→25年度21件)

25年5月より入所措置者1名の受入れにより短期利用者数は8名から7名の枠で運用した。申し込みをされた方については、できるだけ受け入れるように努めた。ユニット制、土日の受け入れをしていない等ありながら7月、10月は最大限の受け入れが行えた(85%前後)。年末年始は自宅での生活が困難な方に利用を絞ったこと、2月は体調不調でキャンセルが多く70%前後となった。リピーターの利用者の介護内容や気持ちには変化があり、それにそった一歩踏み込んだ支援が求められた。

### 2 短期担当2名の設置

- ・入所支援課に兼任で短期担当をおき、短期入所利用者に関する支援方法を検討した。
- ・短期入所に関わる業務を検討した(相談員と入所職員の業務を整理する)。

### 3 短期入所担当会議の開催(毎月)

- ・短期入所の利用調整に関する意見交換を行った

## V 生活介護事業・通所部門



ハロウィンイベント

### 1 契約状況(各年度末状況)

	平成 24 年度	平成 25 年度	増減(△)	備考
継続者数(A)	21	24	3	
年度新規者数(B)	3	14	11	
年度退所者数(C)	0	2	△2	死亡1、他施設1
合計(A+B-C)	24	36	12	

### 2 利用状況 ※障害程度区分平均 5.8 事業日数 261 日 (245)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
開所日数	22	23	20	23	22	21	23	21	22	22	20	21	260
在籍数	35 (24)	429 (288)											
延利用 人数	266	299	288	326	305	260	304	288	278	274	233	277	3398 (1800)
日平均 在籍数	12.7	14.2	14.4	14.8	13.9	13.7	13.8	14.4	13.2	13.1	12.3	13.6	13.7 (7.3)

在籍者数は 24 年度よりも 11 名増え 35 名に延利用者数は 3398 名で前年度の約 1.8 倍増となった。

### 3 利用者の状況

男女数	男性 17 名	女性 19 名	合計 36 名
平均年齢	31.2 歳		
平均利用年数	2.1 年		
障害程度区分	区分 4=0	区分 5=5 名	区分 6=31 名
重複状況	A1+身障 1 級(12 名)	A1+身障 2 級(3 名)	B1+1 級(2 名)
身体障害者手帳	1 級 18 名	2 級 1 名	

### 4 利用者の居住区分布

区	保土ヶ谷区	瀬谷区	旭区	港南区	磯子区	中区	西区
人数	16	2	2	5	0	1	0
区	神奈川区	南区	港北区	緑区	都築区	泉区	戸塚区
人数	1	3	1	0	0	2	3

### 5 送迎支援

	助成団体	コース	年間のべ利用者数
1号車	日本財団	保土ヶ谷、瀬谷方面	422名
2号車	日本財団	保土ヶ谷、旭方面	528名
3号車		保土ヶ谷、中、南方面	530名
4(5)号車	日本財団	戸塚、泉方面	610名
5(6)号車		港南、戸塚方面	630名
合計			2720名

### 6 活動の概要

#### (1) レクリエーション・喫茶プログラム

	スタッフ	頻度	内容
四季の公園散策	職員 ボランティア	毎日	自然豊かな近隣公園の散策で日光と外気に触れて四季の移りかわりを楽しみました。のべ 98 回、1274 名
音楽療法運動プログラム	青田先生 ボランティア	月 2 回	感覚刺激や関節可動域運動、嚙下体操、下肢冷感予防運動など、自然治癒力の向上へむけた全身刺激プログラムを実施した。のべ 24 回、228 名参加
YAMAHA リトミック	三浦先生 ボランティア	月 1 回	流行の曲、リクエスト曲をシンセサイザー演奏で全身で音楽を楽しむ活動。のべ 12 回、85 名参加
喫茶プログラム (軽食・飲物販売活動)	ボランティア	月～土	軽食(パン、ルシアン・お菓子等、焼き芋等)と飲物(コーヒー、紅茶、ジュース類)を提供した。

#### (2) 創作・製菓プログラム

	スタッフ	頻度	内容
製菓プログラム	職員 ボランティア	週2回	職員2名に対し利用者4～6名程度。「混ぜる」「焼く」等、比較的簡単な工程で出来るもの、季節・行事にあったお菓子や料理を利用者と相談して決定した。のべ 94 回、470 名参加
創作プログラム	職員 ボランティア	週2回	ステンシル・陶芸・トールペイント等作品を個別で行い、オンラインの作品作りを行った。 全体作品:一つの作品等を作成し、施設掲示や外部への展示会への出品物を作成。のべ 97 回、582 名参加

### (3) 特別プログラム

	スタッフ	頻度	内容
手話ダンス	ボランティアグループ「ひまわり」	年1回	歌謡曲・童謡など、歌に手話を交えて簡単なダンス形式で行なう、利用者参加型イベント。のべ30名参加
読み聞かせ会	ボランティアグループ	月1回	日本童話やグリム童話など。月1回午後1時間。のべ12回、240名参加
収穫祭	職員 ボランティア	年1回	ボランティアさん協力による季節の収穫祭。 26名参加
クリスマス会	職員 ボランティア	年1回	24名参加
感謝の会 ボランティアさんありがとう会	職員 ボランティア	年1回	21名参加

### (6) 買物体験支援

日時	行き先	のべ参加者数	備考
5～3月 第3週（月～金曜）	コンビニエンスストア	店に行き自分が欲しいものを購入する体験。55回175名	

### 7 日中一時支援事業（定員3名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	1	5	9	12	7	4	5	2	2	5	3	5	63

### 8 特別支援学校実習生の受け入れ

学校名	期間	受入数	備考
上菅田特別支援学校	6月～12月	5名	
三ツ境特別支援学校	7月	1名	

## VI 管理課業務

### 1 管理職会議の運営

毎週1回を原則に、所長、副所長、入所課長、通所課長による管理職会議を開催し、利用者状況、職員状況をはじめ、各課事業課題、欠員採用、予算執行、次年度事業、組織体制等、施設の円滑な運営についての検討と合意を行った。またその結果を常にオープンにするため、検討内容をサイオンにより職員に伝えた。

### 2 職員集会の開催

施設全体に関する案件について職員集会を開催し全体での検討をはかった。

日時	内容	備考
平成25年6月17日、20日	介助拒否への具体的対応と今後の取り組みについて	
平成26年2月24日、27日、3月1日	たっちほどがやの課題と3か年計画、職員体制案	
平成26年3月26日、28日	平成26年度事業計画・予算案	

### 3 利用者のアメニティ向上、職員の腰痛予防の取り組み

項目	内容
リフターの導入	職員の腰痛予防(厚生労働省介護労働環境向上奨励金対象)
ストレッチャー型体重計の導入	正確な体重把握(厚生労働省介護労働環境向上奨励金対象)
各ユニットリビングの網戸の設置	自然の風を楽しむ環境
車いす散策路の整備	車いす散策用施設外周路の整備、出入り口の段差解消

### 4 入所利用者の買い物代行

月	買物代行			ネット購入代行			合計金額
	利用者数	購入点数	金額	利用者数	点数	金額	
4	14	64	26,727	28	133	39,713	66,440
5	16	66	35,019	29	141	39,756	74,775
6	10	52	24,788	24	122	30,905	55,693
7	12	50	27,008	24	126	35,373	62,381
8	6	25	11,111	20	91	24,813	35,924
9	8	38	17,682	23	174	39,041	56,723
10	15	76	43,719	42	207	59,809	103,528
11	6	35	17,256	22	100	22,093	39,349
12	8	35	18,950	25	185	25,587	44,537
1	8	36	22,836	26	129	29,668	52,504
2	7	30	19,951	28	136	32,831	52,782
3	14	33	15,405	26	120	36,754	52,159
合計	124	540	279,857	317	1,670	416,343	698,410

合計で入所利用者のべ 441 人の雑貨、書籍、食品、化粧品等 2210 点、698,410 円の買物代行を行った。

### 5 業務環境の整備

項目	内容
物品管理業務の改善	管理課で行ってきたオムツ、洗剤等の物品管理方法を見直し、設置方法、在庫管理方法を変えることで入所支援課との連携業務として効率化を図った。

### 6 経費節減の取り組み

- ① 国庫補助金対象の電力消費量監視装置(BEMS)を設置し「見える化」を通じて節電に努めた。
- ② 平成 26 年度委託業者の競争入札を実施した

	新	旧
給食委託業者*	一富士産業	安田物産
建物保守管理委託業者	ハマメンテ	横浜ビルシステム

\* 給食委託業者の入札に際しては入所者代表・家族会代表を委員とする試食会を開催し投票により決定した。

### 7 経理業務

平成 25 年度より「新会計基準」への移行を行った。

## 8 給食業務

### (1) 給食会議

給食委員および委託業者で月 1 回会議を開催した。内容は給食に関するインシデント、ヒヤリハットの確認、イベント食、お誕生日食の確認、検食簿の内容の確認と評価などを主とした。特にインシデントやヒヤリハットの事例については再発防止策を厨房の現場側と生活支援員の考えをすり合わせ、再発防止に努めた。

### (2) 栄養教育

25 年度は毎月 1 回ユニットの利用者と調理活動を行った。テーマは「野菜を使ったおやつ菓子」で旬の野菜を使用したお菓子作りを行った。自分で作ったものを食べる楽しみとともに、使用した野菜についての栄養価値について説明し、栄養に関する知識を深めてもらうよう努めた。

### (3) 横浜市プロジェクトへの参加

横浜市健康福祉局からの依頼により「障害者施設の栄養・給食に関する事例集」作成に参加した。事例集は平成 26 年 3 月に完成した。栄養管理、食形態、給食事務管理、衛生管理、災害への備え、グループホームへの関り等、障害者施設における栄養士の業務を掲載した。プロジェクトへの参加により栄養士同士のつながりが生まれ、施設に一人しかいない栄養士にとって今後も継続するプロジェクトメンバーのつながりを心強く感じた。

## 9 防災訓練

月日	消火訓練	通報訓練	避難訓練	消防署員立会
25.7.9	○	○	○	
25.8.21		○	○	
25.9.11		○	○	
25.12.11		○	○	
26.3.12	○	○	○	○

## 10 その他

### ①入所者の投票支援

	日時と会場	投票者数	外部立会人
参議院選挙	7 月 18 日(木)15 時～17 時・会議室	14 名	1 名
横浜市長選挙	8 月 22 日(木)15 時～17 時・会議室	14 名	1 名

\*平成 25 年 6 月の選挙法改正により 11 名の選挙権が復活した(うち 2 名が投票参加)

### ②横浜市福祉調整委員会への対応

平成 25 年 9 月 11 日、入所者からの訴えにより横浜市福祉調整委員会の調査を受け入れ、その後委員会から入所者、施設両者に提案が行われ、施設はその提案にそって入所者との調停をすすめた。

### ③横浜市指導監査

平成 25 年 11 月 28 日の横浜市指導監査にて指摘された件について 3 月 31 日に以下のとおり報告を行った。

	監査結果(平成 26 年 3 月 8 日)	報告事項(平成 26 年 3 月 31 日)
要報告事項	1. 個別支援計画について適切な期間での見直し、及び利用者の同意を得ること。なお 6 ヶ月を超えて見直しを行った確認のできない期間、ならびに 1 年を超えて計画の更新及び利	1. 個別支援計画について 6 ヶ月を超えて見直しを行った確認のできない期間並びに 1 年を越えて計画の更新及び利用者等の同意が得られない期間について、自主点検のうえ過誤再請求いたしま

	<p>用者等の同意が得られていない期間については自主点検のうえ過誤再請求すること。(指定施設基準条例第 27 条)</p> <p>2. 体制届について「職員体制」に関しては届出年度の当初状況を反映させるとともに職員の兼務状況が明確になるよう表記すること。なお平成 25 年度に関して、一部実態と異なる内容のため再提出すること。併せて算定条件を満たしていない加算項目について、算定変更届を提出すること。(指定施設基準条例第 3 条)</p> <p>3. 衛生管理者及び産業医を選定し、労働基準監督署へ届け出ること。(労働安全衛生法第 12、13 条)</p>	<p>した。</p> <p>2. 体制届について平成 25 年度に関して一部実態と異なる内容のため再提出いたしました。</p> <p>3. 産業医を選定し労働基準監督署へ届けるとともに職員が衛生管理者講習会を受講し受験準備をしているところです。</p>
<p>通知事項</p>	<p>1. 生活介護の営業時間を整理し、運営規程の記載を修正すること。また重要事項説明書に営業日、営業時間を追記すること。(指定施設基準条例第 46 条および 11 条)</p> <p>2. 施設入所が受ける生活介護において負担する昼食代と通所者が受ける生活介護において負担する昼食代の金額が異なるので見直しを行うこと。(指定施設基準条例第 23 条)</p> <p>3. カーテン等は防災性能を有するものとしその旨を表示等により明らかにすること。</p> <p>4. 家具等の転倒防止などに努めること。</p> <p>5. 入所者の預り金の管理について牽制効果のある管理体制を整備するよう努めること。</p> <p>6. 労働基準法に定める協定に記載されていない項目について給与から直接費用を控除していたので是正すること。</p> <p>7. 看護職員の就業時間帯が就業規則に記載のないため是正すること。</p>	<p>1. 生活介護の営業時間を整理し、運営規程の記載を修正するとともに重要事項説明書に営業日、営業時間を追記しました。</p> <p>2. 異なっていた入所者と通所者の昼食代の見直しを行いました。</p> <p>3. カーテン等は防災性能を有するものとし、その性能のないものは利用者の理解を得て取り外すようにしました。</p> <p>4. 家具の転倒防止器具を購入するなど努めました。</p> <p>5. 入所者の預り金の管理について牽制効果のある管理体制を整備するための検討を始めました。</p> <p>6. 労働基準法に定める協定に記載されていない項目について給与から直接費用を控除していたので是正しました。</p> <p>7. 看護職員の就業時間帯の記載のある就業規則に改訂しました。</p>

## Ⅶ 職員受講研修一覧

日時	内容	主催	参加者
25/4/1～	十愛療育会 新任職員研修	法人本部	武居、仲宗根
25/4/25	平成 25 年度衛生管理者養成研修会(全 5 日)	労指センター	永藤
25/5/19	アロマトリートメント体験研修～障害のある方とアロマケア	フュージョンコム	荒井、
25/5/24	人事労務管理の基礎知識	県社協	小越
25/6/28	平成 25 年度神療協リハビリ担当職研修会「各施設におけるリハビリテーション実施状況についての情報交換」	神療協	奥川
25/7/2	障害者施設職員研修会～障害者の咀嚼嚥下	横浜市	丸山、森
25/7/9-11	社会福祉法人経営者研修会・サービス管理コース	全社協	米山
25/7/25	特別支援学校看護師及び教員研修会	横療	広実、小綿、野村
25/8/1	平成 25 年度障害者虐待防止法と権利擁護研修	市社協	間山
25/9/3	コミュニティカが創る新しい暮らし～新しい集合住宅	日経新聞	武居
25/9/4	神奈川県相談支援従事者初任者研修(全 6 日)	市社協	小林
25/9/11	脊椎損傷者のリハビリテーション(全 2 日)	神奈リハ	柴野
25/10/11	喀痰吸引等研修不特定(全 12 回)	愛の郷	米山、清水
25/10/17	障害者虐待防止法と事例考察	神身協	平間
25/10/18	社会福祉法人会計簿記研修会	県社協	小越
25/10/21	喀痰吸引等研修不特定(全 12 回)	か福振	永藤
25/10/27	摂食指導研修「摂食、嚥下困難を持つ人への対応を見直してみませんか？」	フュージョンコム	大野
25/11/6	喀痰吸引等研修指導看護師養成研修	愛の郷	水口
25/11/15	社会福祉法人新会計基準対応研修	市社協	武居
25/11/19	リズム運動療法実技講習会	二俣川	荒井、椿
25/11/19	生活援助職研修会「生きる喜びにつながる日中活動支援のあり方:マンネリ化でお悩みの方、本来の支援を取り戻すきっかけがつかめます」	神障協	丸山
25/12/11	第三回神奈川県栄養士福祉事業部研修会「障害者施設の栄養ケアマネジメントの基本とすすめかた」	県栄養士会	森(事例発表)
25/12/17	障害のある人が年をとるということ	は一と友	川田、地徳
26/2/12	ケースワーカーとつながろう	ゆめ	米山、吉野
26/2/12	福祉送迎車両安全運転講習会	福車協	西園寺
26/2/19	福祉施設における看取りケア～その考え方と実践	県社協	永藤
26/3/4/19	平成 25 年度接遇リーダー研修	県社協	横関
26/3/23	リエゾン笠間事例発表会	同愛会	吉野

## Ⅷ アクシデント・インシデント

### 1 アクシデント\*

平成 25 年度のアクシデントは 6 件で、骨折 5 件、前歯抜歯と唇裂傷 1 件でした。これまでの発生件数と比較すると増加しており、援助や支援の方法も含め施設全体でアクシデント防止の取り組みを進める必要があります。

#### 22～25 年度発生月別アクシデント件数

年度	4 月	5 月	8 月	9 月	1 月	2 月	3 月	計	
25	2	1	1		1		1	6	4 月大腿骨頸部骨折、右足親指間接骨折、5 月右大腿部頸部骨折、8 月上旬前歯抜歯と下唇裂傷、1 月左中骨骨折、3 月右腓骨骨折
24	3					1		4	4 月左肋骨ヒビの疑い、右鎖骨骨折、左足くるぶしヒビ、2 月両手の皮膚剥離
23							2	2	第一腰椎圧迫骨折の疑い、左頬裂傷
22				1			1	2	9 月右肋骨にヒビ、3 月バルンカテーテル抜去
計	5	1	1	1	1	1	4	14	

\*アクシデント＝利用者に実害が生じ、事故として横浜市へ報告した案件。

### 2 インシデント\*

平成 25 年度のインシデントは 171 件報告されています。転倒 42 件(主に車椅子から)、与薬 41 件(主に薬の飲み残し)、自身の行動 27 件(主に他者に対する行為など)となっています。インシデントは、普段と異なる事態や状況、行為などをきめ細かく報告することでアクシデントにつながることを防ぐため職員には報告を奨励しています。

#### 25 年度月別インシデント発生件数

月	発生 件数	事 由							
		転落	与薬	負傷 等	食事	医療 器具	排便 関係	自身の 行動	その他
4	16	3	3	1	2	1	1	5	
5	25	4	6	3	1			8	3
6	16	5	2	1	1	2	1	1	3
7	13	2	1	2	2	1	1		4
8	18	3	6		1	1	1	2	4
9	6		2		1		1		2
10	12	2	3	1	1		1	2	2
11	19	12	3	1			1		2
12	16	6	4	2			1	1	2
1	13	2	4	1			1	5	
2	7	2	2				1	1	1
3	10	1	5				2	2	
計	171	42	41	12	9	5	12	27	23

\*インシデント 利用者に実害(軽微なものは除く)は発生していないが、その恐れがある案件。インシデントとして報告することで職員間で共有し、アクシデントが発生することを防止する。

22～24 年度別インシデント発生件数

年度	発 生 件数	事 由*							
		転落	与薬	負傷	食事	医療 器具	排便 関係	自身の 行動	その他
24	152	23	42	37	10	5	5	12	18
23	215	62	61	30	17	11	12	5	17
22	153	40	47	18	13	5	6	12	2
計	520	125	150	85	40	21	23	29	37

**\*事由の説明**

- 転落** 車椅子、ベッド等からの転落、立位時の転倒など
- 与薬** 口中からの薬の落下、服薬忘れなど
- 負傷** 擦り傷、打撲など軽微な負傷
- 食事** 配膳間違い、他利用者のものを喫食など
- 医療器具** バルンカテーテルの抜去、経管栄養チューブのハズレなど
- 排便関係** GE 忘れなど
- 自身の行動** ユニットから出る、車椅子自走中に手を擦りむく、異食など

**IX 要望・意見・苦情**

平成25年度に寄せられた意見・要望・苦情は13件でした。このうち、横浜市福祉調整委員会への訴えが1件ありました。内訳は次のとおりです。

平成25年度要望・意見・苦情

要望	意見	苦情	計
2件	0件	11件	13件

主な内容

(1) 要望

- ・車椅子の空気を入れて、施設内部の情報を家族会にも伝えてとの要望がありました。

(2) 苦情

- ・行事予定を変更したら変更の掲示をして、外出するときはすぐに出られるよう支度をしておいて、朝早く洗濯機を回さないで、昼食時職員が1人になってしまい利用者は待たされているなどの苦情がありました。

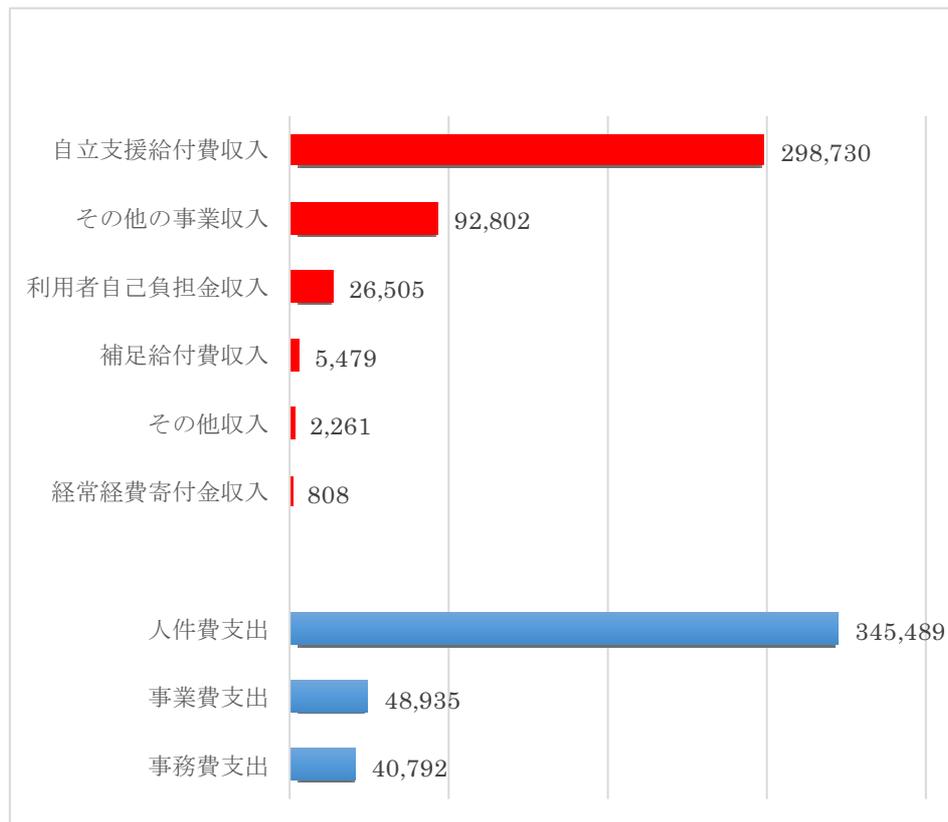
過去の要望・意見・苦情

	要望	意見	苦情	計
23年度	11件	6件	25件	42件
24年度	5件	3件	13件	31件

※23年度から受付の仕組みを構築しました。

要望や意見、苦情について、利用者個人の要望・苦情についてはその都度対応し解消させるよう努めています。また、家族の方が訪れたときに各ユニットの職員や行事が分かりやすくなるよう工夫するなど多くの改善も実施しています。しかし、爪切が出来ていないなど繰り返し要望されることも多く、またプライバシーへの配慮、職員と話したくてもなかなか職員に会えず話しが出来ないなど改善すべきことは多く残されています。

## X 平成 25 年度 決算の概要



「自立支援給付費収入」は2億9千873万円で収入全体の70%を占めています。「その他の事業収入」は横浜市補助金でユニット加算等が含まれます。支出全体に占める人件費の割合いわゆる人件費率は79.4%でした。

